



## 伝統の技を後世に引継ぎ残していく

窯元有志による『献上窯焚き』は、鍋島藩御用窯時代の献上品を再現するとともに、失いかけてゆく伝統の技を後世に引継ぎ残すために真剣に取り組まれています。

「大川内山 献上登り窯焚き」 写真：川原義則さん

# 伊万里 市議会だより

## 第66号

平成30年  
(2018年)

## 8月

### 一般会計

6月補正額：12億1,983万円

予算総額：255億5,167万円

(対前年同期：+0.1%)

7月の豪雨災害で被災された方々に  
心よりお見舞い申し上げます

6月補正予算は賛成多数、それ以外の  
議案は全会一致で可決しました

平成30年伊万里市議会第2回定例会  
会期日程

6月 開議時刻 午前10時

日	種別	内容
18(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等 13件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
20(水)	本会議	議案等に対する質疑
21(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
25(月)	本会議	一般市政に対する質問
26(火)	本会議	一般市政に対する質問
27(水)	本会議	一般市政に対する質問
28(木)	休会	常任委員会
29(金)	休会	常任委員会
7/3(火)	休会	正副委員長会
4(水)	本会議	意見書案2件、決議案1件……一括上程 意見書案等の提案理由説明 意見書案等に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 議案等の付議順序により討論及び採決 佐賀県西部広域環境組合議会議員の選挙(1名) 閉会

議会ホットコーナー

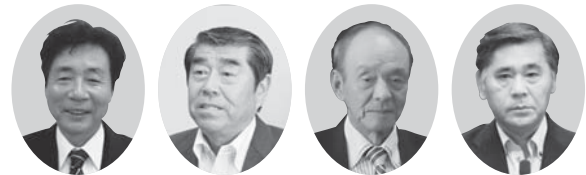
人事の承認 (5月臨時会)

副市長 泉 秀樹氏・教育長 松本 定氏  
監査委員 井関勝志氏・教育委員 酒見良司氏

市長等特別職への退職手当  
今任期中の不支給 決定

深浦市長の選挙公約であり、5月臨時会で継続審査となっていたこの案件について、全会一致で決定しました。(詳細については、総務委員会報告をご覧ください)

全国市議会議長会 永年勤続表彰  
(勤続15年以上)



前田久年 議長 草野議員 渡邊議員 樋渡議員

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の規定により、選挙区内の皆さんへの金品を伴った初盆のお参りや、時候のご挨拶には制限がありますので、失礼させていただきます。

議員一同

定例会会期日程など

意見書

子どもの命を守る児童虐待防止  
対策の強化を求める意見書

東京都目黒区など全国で起きている児童虐待を防止する対策として、児童相談所全国共通ダイヤル「189」の周知や体制整備、関係機関との連携強化などを要請する。

少人数教育の推進と教育予算の  
拡充を求める意見書

義務教育費に対する国庫負担の割合引き下げなどにより、地方自治体は教育予算の確保に困難さがある。どこに住んでいても一定水準の教育を受けられることは憲法上の要請であり、国の予算拡充を要請する

編集委員

◎盛 ○岩崎 坂本 前田邦 弘川 前田敏

顧問 馬場 樋渡

発行 伊万里市議会

伊万里市立花町一三五五一  
☎0955-231-2594  
☎0955-221-277  
E-mail:gikai@city.inari.lg.jp

編集 市議会だより編集委員会  
印刷 山口印刷株式会社

## 「第1回 議員と語ろう・意見交換会」報告

2月に開催した会には、多くの参加とご意見を頂き、有難うございました。前号でアンケート結果と、今後の流れについての報告をしました。その後、出されたご意見を各委員会で集約・分析し、市政と議会の課題として代表的なものをこの議会だよりで、それ以外は議会のホームページや各町公民館への掲示でご報告します（その時期は8月上旬を目途としています）。

秋には第2回目を開催する予定ですので、ぜひお誘いあわせの上、お出掛けください。

### 若者の、市外への流出防止のための移住・定住策と、その方策としての大学等の誘致はできませんか。

少子化の流れの中、大学等の新設はかなり厳しい状況であり、移住、定住策としての大学等の誘致は、現時点では考えられません。まずは、移住・定住業務の中で、仕事や住宅など情報の充実を図り、移住・定住奨励金などの支援により、特に子育て世代の転入促進を図っていくとの考えであり、議会としても、移住・定住策のさらなる充実と積極的な取り組みを推進するよう求めています。



### 若者が定着できるよう、早期の工業団地整備を望みます。



市内の分譲可能な工業団地は、黒川町の七ツ島工業団地に2区画(5.1ha)しか残っていないため、平成28年9月、松浦町において伊万里東部(松浦地区)工業団地(仮称)の整備に着手しています。平成31年度末の分譲開始に向け、地権者や地元のご協力をいただきながら、着実に事業を進めるとのことです。議会としても若者の定住につながる企業誘致については、情報収集など積極的に協力していきます。

### 国見台公園のトイレを、洋式にして欲しいのですが。

国見台では、平成35(2023)年の国民体育大会・障害者スポーツ大会において、軟式野球とホッケー競技の開催が計画されています。そこで、必要となる競技場施設の改修を行う予定であり、それに合わせて、まずは陸上競技場や野球場のトイレから洋式化などの改修を進める予定です。議会としては、予算を考慮しながら、利用頻度が高いトイレの改修を優先的に進めるよう、働きかけていきます。



### 留守家庭児童クラブ、平日はもう少し遅くまで、土曜日は始まり時間の前倒しをお願いします。

現在の児童クラブ開設は、平日18時まで、土曜日は8時～18時までとなっています。一方、市内の保育園は終了時間が18時30分、又は19時。土曜の開始時間は7時、又は7時30分であることから、それを参考にしながら児童クラブの開始・終了時間についても検討し、今年度中に方針が示される予定です。支援員確保の問題もありますが、子育て支援にも繋がることから、議会として早期の方針決定を求めています。



### 暗い道が多いです。防犯灯の一層の充実を求めます。

防犯灯の設置は各行政区が行い、その経費助成は、以前は年額120万円の予算を確保し、一基につき事業費の2分の1以内、1万円を上限として補助を行っていました。平成29年3月に区長会連合会から防犯灯設置費補助金の増額に関する要望書が、また市議会総務委員会、及び市長座談会において、建柱を伴う防犯灯の設置に対する補助の増額を求める意見があったため、平成30年度から、建柱を伴う防犯灯の新設は、補助上限額を1万円から2万円に増額し、予算も150万円に増額されています。議会としても市民の安全・安心を守る観点から、より一層の充実、予算措置を求めています。



### 大川内山窯元市などの時、駐車場は無料にできませんか。



「春の窯元市」と「鍋島藩窯秋祭り」の折の交通整理費は、伊万里鍋島焼協同組合が徴収されています。伝統産業会館の駐車場以外の土地は、同組合が借地をして運営しているため、この交通整理費を借地料の一部に充てておられますが、観光振興の視点から、多くの観光客の皆さんに喜ばれるよう、市から機会をとらえて伊万里鍋島焼協同組合に伝えるとことです。議会としても大川内山をはじめとした伊万里市の観光戦略について、今後とも提案していきます。

### 議会の会派は切磋琢磨して、知恵を出し合い、政策立案してほしい。追認議会ではなく、チェック機能の強化を。

会派毎の勉強会や視察に加え、議会全体としても研修を重ねるよう、議会基本条例に書き込んでいます。年間25万円支給されている政務活動費を活かし、伊万里市議会としての「活動の見える化」を図りたいと思います。なお、政務活動費の報告書（領収書を含む）を、昨年度分から市議会ホームページにて公開しています。また、一般質問も、インターネット公開をしておりますので、議員と執行部（市長以下市役所職員）との議論をご覧頂ければ幸いです。



### 小グループでの意見交換は良かったが、テーマを事前に示してほしかった。

テーマを絞った場合にはそれに関心のある方だけの参加になることを危惧して、今回はどなたでも発言しやすい漠然としたテーマとしました。今後はテーマ別の意見交換会も計画する予定です。会の進め方についても色々なご意見がありましたが、対面形式ではマイクを持った方だけの発言となりますが、グループ形式では殆どの方が発言されて満足度も高く、この形式は良かったと総括しています。



## 総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、出納室、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に属しない事項

当委員会に付託されました条例議案1件、一般議案1件、平成30年度補正予算議案1件及び5月21日の臨時会において継続審査となっていた、特別職の職員の退職手当の特例に関する条例議案について審査の結果、原案通り可決すべきものと決定いたしました。

### 伊万里市税条例等の一部改正

今回の条例改正は、地方税法等の改正に伴い所要の措置を講じるため改正するものです。

#### ○たばこ税の税率の引き上げ

高齢化の進展による社会保障関係費の増加等もあり、たばこ税の税率を、平成30年10月1日から平成33年10月1日までの間に国と地方合わせて1本当たり3円、市たばこ税としては、現行の1,000本当たり5,262円から6,552円に3回に分けて段階的に上げるものです。

また、平成31年4月1日に予定されている旧3級品の紙巻きたばこの税率引き上げを平成31年10月1日に延期するものです。

#### ○加熱式たばこの課税方式の見直し

今回新たに「加熱式たばこ」の区分を創設し、「重量」と「価格」を紙巻きたばこの本数に換算する方式とするものです。

### 30年度補正予算

#### ○防犯灯設置促進事業

防犯灯設置費補助金150万円は、各行政区が防犯灯を設置する経費の一部を補助するものです。これまで補助の上限は柱の設置の有無に関わらず一律1万円でしたが、今回から柱の設置を伴うものについては上限が2万円に引き上げられました。

新設設置を優先し、夜間の安全・安心をより一層図るものです。

#### ○秘書渉外事業

市長の出張において国会議員等への要望活動を伴わず、担当部署職員が出席する際の秘書課職員の随行等を取りやめるなど、旅費143万6千円が減額補正されました。

また、祝電、弔電基準が見直され、通信運搬費31万9千円が減額補正されました。

#### ○婚活推進事業

未婚・晩婚化に対する取り組みとして、毎月1回の婚活イベント等による引き合わせなどを実施しており、実績として5月末現在で登録者のうち194名の方から成婚報告を受け、着実に成果が上がっています。

婚活推進業務委託料として、年間必要見込額49万6千円に対し当初既決予算額との差額33万円が補正されました。

#### ○次代を創る研修事業

今回から市民が希望する研修会への参加や海外を含めた視察研修の「市民提案型の助成制度」に移行します。その研修費補助金70万円など合計98万2千円が補正されました。なお、事業の効果や継続について質疑があり、今後、検証し対応したいとの答弁がありました。

#### ○伊万里・有田消防組合運営負担金及び有蓋防火水槽改修工事請負費

伊万里署において救急業務後の除染・消毒等を行う救急専用施設の実施設に伴う負担金40万4千円。新天町に設置してある有蓋防火水槽の上蓋改修工事費118万8千円が補正されました。

なお、委員から救急専用施設については、専用仮眠室等のより充実した施設とするよう意見が出ました。



新天町有蓋防火水槽現地視察

#### 特別職の職員の退職手当の特例に関する条例議案

5月21日の臨時会において継続審査として付託されました「特別職の職員の退職手当の特例に対する条例議案」については、報酬審議会に諮るべきではないか等の意見が出ましたが、原案通り可決されました。

◎井手 勲 ○中山 光義  
前田 久年 力武 勝範 梶山 太  
多久島 繁 草野 譲 盛 泰子

## 文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会

当委員会に付託された条例議案1件、予算議案4件、補正予算議案2件について審査の結果、議案乙第21号については賛成多数、その他の議案については全会一致で原案の通り可決すべきものと決定しました。

主な内容は下記のとおりです。

## 【条例議案】

## ■留守家庭児童クラブ条例の一部を改正する条例

大坪公民館に大坪第4児童クラブを開設するとともに、南波多児童クラブを旧南波多中学校に位置変更したものを。

## 【予算議案】

## ■平成30年度一般会計補正予算

## 民生費

○特別支援学校留守家庭児童クラブ運営事業  
……………416万8千円

特別支援学校留守家庭児童クラブの指導員等の賃金について、県の補助対象経費基準額が引き上げられたことに伴い、委託料を増額する。

○敬老会開催事業 ……………666万7千円  
各町において敬老会を開催し、88歳の長寿者に対し3千円の祝金を支給する。

○子ども・子育て会議運営事業…237万4千円  
平成32年度から平成36年度までを期間とする「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、子育て支援に関する住民ニーズを把握するためのアンケート調査を行う。

○公立保育園運営交付金事業 ……75万2千円  
公立保育園6園に対し、園長の裁量で用途を決定できる経費を交付する。

## 衛生費

○環境保全創造住民活動支援事業…170万円  
資源循環型社会の形成に向けてクリーン伊万里市民協議会が取り組む伊万里「環の里」計画事業に対し、実施に要する経費の2分の1を補助する。

## 教育費

○デジタル教科書導入研究事業 ……25万円  
デジタル教科書導入に向け、効果的な授業研究や導入教科の選定を行う。

○学校運営交付金事業……………330万円  
子どもや地域の状況に応じた特色ある学校

づくりを推進するとともに、学校現場で発生する様々な課題に対応するため、校長の裁量で用途を決定できる経費を交付する。

○公立幼稚園運営交付金事業 ……11万5千円  
黒川幼稚園に対し、園長の裁量で用途を決定できる経費を交付する。

○小・中学校施設環境改善事業（空調整備設計業務委託） ……………1,237万1千円

小・中学校施設の環境を改善するため、普通教室等への空調設備の設置に向けた実施設計を行う。

・設計委託料（小学校）…798万4千円  
（中学校）…438万7千円

○小・中学校パソコン管理事業（学校図書館電算化） ……………804万8千円

学校図書館の図書検索機能の充実や迅速化・効率化を図るため、蔵書管理システムの導入とパソコンの更新を行う。

○明治維新150年記念偉人事業 ……350万円

明治維新150年を契機に県で開催される「肥前さが幕末維新博覧会」に連動し、本市出身の偉人とその偉業を顕彰するため「幕末・明治維新と伊万里展」の開催や小・中学生向け副読本の制作を行う。



大坪第4児童クラブ建設予定地

## 【意見】

・中学校空調設備設計業務においては、中学3年生教室への今年度内エアコン設置を前提とした分割委託をすることにより支出増が見込まれる。委託内容を精査し、整備事業全体の経費増とならないよう計画的かつ効率的な事業実施を図ること。

## 【質疑】

・新設が計画されている大坪小学校第4児童クラブの施設規模について  
・運営交付金（学校・幼稚園・保育園）の使途基準について

○香月 孝夫 ○前田 邦幸  
馬場 繁 副島 明 山口 恭寿  
船津 賢次 松尾 雅宏 樋渡 雅純

### 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

本委員会に付託されました議案について審査した結果、原案の通り可決すべきものと決定しました。

主な内容は以下の通りです。

#### 労働費 □は新規事業

##### □ふるさと伊万里就業奨励事業

若年層の市外からの転入を促進し、市内企業等の人材確保を図るため、就業奨励金を交付する。

- ・事業費 ……………100万円

#### 農林水産業費

##### □経営体育成基盤整備事業

整備後50年以上が経過した東山代干拓地の集積化、効率化を図るための再整備(水利施設、農道等)を行うため、県営事業採択に向けた事業計画書を作成する。

- ・事業費 ……………659万9千円

#### 商工費

##### ■企業立地勸奨事業（企業誘致営業費、□企業誘致報奨金）

企業の新規立地を促進し、新たな雇用を創出するため、企業誘致の営業活動に要する経費を増額するとともに、企業の立地動向に関する情報の提供者に対し誘致結果等に応じて支払う企業誘致報奨金に係る経費を追加する。

- ・事業費 ……………303万7千円

#### 視察報告

##### ○徳島県三好市(観光振興の取組み)

豊富な観光資源や地理的優位性を活かしたまちづくりが行われており、観光産業をリーディング産業として激化する地域間の競争を勝ち抜くため、外国人観光客の増加を図った結果、インバウンドで一定の効果が出てきている。一方で、三好市を訪れる観光客は通過型や立ち寄り型が多いという課題がある。三好市の観光業においても担い手不足が深刻で、それぞれの観光資源を相互に連携させながら効率的に活用するまでには至っていないなど、本市と同じような課題を抱えていた。

##### ○徳島県神山町NPO法人グリーンバレー(サテライトオフィスの誘致)

徳島県では地上デジタル放送への完全移行に備えて、公設民営方式でケーブルテレビが整備されたことで県内の隅々まで光ファイバーが整備され、人口6,000人足らずの小さな過疎のまち・神山町にも大都会に負けない高速

##### □市内周遊観光券発行支援事業

西九州自動車道延伸に伴い、さらなる福岡都市圏からの誘客の拡大と周遊促進、市内における観光消費額の増加を図るため、食事や土産、体験に係る費用を助成する周遊観光券の発行に要する経費を補助する。

- ・事業費 ……………300万円

##### ■藩窯公園管理事業（□関所門柱取替）

藩窯公園玄関口に設置されている関所門柱について、老朽及びシロアリ被害により倒壊の危険性があるため、取替工事を行う。

- ・事業費 ……………464万4千円

#### 土木費

##### ■排水機場保全対策事業

長浜六本松及び木須新田排水機場の老朽化、機能低下に対し、平成27年度に策定した機能保全計画に基づき、5ヵ年計画で施設の保全対策を行う。

- ・事業費 ……………1,840万9千円

#### (意見)

- ・観光客の利便性の向上のため、市内での観光客の交通手段の充実を図りたい。
- ・伊万里の“いい職”説明会への大学生の参加が増えるように様々な手法でのPRを図ること。

#### (質疑)

- ・市内周遊観光券発行支援事業について
- ・伊万里港に寄港できるクルーズ船の大きさについて

通信網が存在し、“のんびり田舎暮らしをしながらオンラインで最先端の仕事をする”という働き方を求め、IT関連企業のサテライトオフィスが続々と開設されている。今では「地方創生の成功例・神山モデル」として注目されており、本市のオフィスビルへの企業誘致においても参考になるとと思われる。

##### ○徳島県鳴門市(地場産業の振興と企業誘致)

鳴門市では、行政・経済団体・経営者など様々な人や機関が連携して、成長意欲に富んだ地元の中小企業が活躍できるビジネス環境を創出する「エコノミックガーデニング」に取り組んでいる。

◎東	真生	○坂本	繁憲		
岩崎	義弥	弘川	貴紀	前田	敏彦
松永	孝三	渡邊	英洋	笠原	義久

## 議会運営委員会

## 議会運営委員会報告など

議会報告会での市民の皆様からの様々な意見、要望等について、各班で意見の整理⇒議運で分類⇒常任委員会で検討・調査・研究という取り扱いの流れを確認しました。意見の分類については3段階に分け、その結果について8月上旬を目安に議会ホームページや各

町公民館でお知らせする予定です。

今後の議運協議については、定数削減による条例等の見直しと共に、議会運営についての検討、議会報告・意見交換会の実施等があります。

### 行政視察報告(5月9日～11日)

#### ○福島県会津若松市議会、郡山市議会

会津若松市議会は、10年前に議会基本条例を策定し、市民意見を起点とした政策形成サイクルの確立と実践により政策形成を行い、議会改革のトップランナーとして全国的に知られている。今回、目黒議長から直々に政策形成サイクルについての講義を受けると共に、夜に行われた市民との意見交換会の現場にも参加させて頂き、その運営等を学ぶことができた。

議会の機能として、「監視と評価」「議会としての政策提案」「議会としての民意の吸収」「市民の声の政策化」に力点が置かれている。特に「市民の声の政策化」については、意見聴取の場である「意見交換会」と、意見整理・問題発見・課題設定のための「広報広聴委員会」の設置、および問題分析・政策立案としての「政策討論会」の3つがあり、政策形成サイクルの主要ツールとして考えられている。このサイクルの推進体制として、広報広聴委員会、各派代表者会議、政策討論会、各種会議体を明確に位置付け、システムとして作り上げられている。これまでは、水道未整備地域の解消や、公共性の高い私道の除雪排雪

実施、公共施設の再配置などの点で市を動かした実例があり、政策形成サイクルが機能していることがうかがえた。

意見交換会は、地区別、分野別に分けて実施されている。年に160～300人の参加があるが、参加者の伸び悩み、属性(年齢層、男女比など)の偏り、意見交換の時間不足が課題のようである。伊万里市においては第1回目の議会報告、意見交換会を終えた。視察内容を参考にしつつ今後も続けて調査、研究していく。



会津若松市議会 市民との意見交換会を視察

◎樋渡 雅純 ○副島 明  
岩崎 義弥 中山 光義 坂本 繁憲  
山口 恭寿 井手 勲 盛 泰子

### 地方創生調査特別委員会

「人口ビジョン」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて展開される諸施策の推進状況や、課題等を調査検討するための委員会。

◎多久島繁 ○前田敏彦 香月孝夫 船津賢次  
松尾雅宏 草野 譲 笠原義久

### 議会基本条例推進特別委員会

昨年3月に制定した議会基本条例について、具体的な推進方法を調査検討するための委員会。

◎梶山 太 ○弘川貴紀 前田邦幸 力武勝範  
東 真生 松永孝三 渡邊英洋



## 一般質問 (質問順)

議員名	質問事項	議員名	質問事項
前田 敏彦	1. 通級指導教室 (1)教室の設置状況 (2)教育環境整備 (3)今後の対応 2. 小中学校のエアコン整備 (1)整備スケジュール (2)整備事業費 (3)学校施設整備優先順位	力武 勝範	1. 高齢者福祉対策 (1)第4次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画 (2)社会保険事業に対する財政負担 (3)生活支援体制整備事業 2. 留守家庭児童クラブ (1)民間事業者への運営業務移行状況 (2)待機児童 (3)課題とその対策 3. 特別支援教育(通級指導教育) (1)通級指導教育の現状 (2)施設整備と指導教員の配置
坂本 繁憲	1. 教育環境の整備 (1)小中学校のエアコン整備 (2)学校給食費の無料化 (3)学校トイレの洋式化 (4)教育の充実への思い 2. 子育て支援 (1)保育料の現状 (2)幼児教育・保育の無償化 (3)子育て支援への思い	弘川 貴紀	1. 渋滞の緩和と交通の安全 2. 甲子園プロジェクトの成果と今後の展開
松永 孝三	1. 市長の市政運営の基本方針 (1)伊万里港開港50周年記念事業 (2)市長選挙の公約 (3)伊万里港振興策 (4)伊万里湾総合開発 (5)旧川南造船所跡地 (6)公共施設(公民館)の複合施設整備事業 (7)伊万里松浦病院の移転後の問題	馬場 繁	1. 企業誘致の推進 (1)企業誘致の取組み状況 (2)伊万里東部(松浦地区)工業団地(仮称) (3)企業誘致 2. 学校等の管理・運営 (1)学校ほか2運営交付金事業 (2)整備要望の対応状況 (3)学校建設の計画
山口 恭寿	1. 市役所移転 2. 教育環境の整備 (1)エアコンの設置計画 (2)留守家庭児童クラブ (3)大坪小学校留守家庭児童クラブ (4)東山代小学校建設 (5)デジタル教科書導入 3. 公民館への予算と権限委譲 (1)公民館長公募制 (2)職員配置 4. 伊万里港開港50周年記念事業	笠原 義久	1. アジアネットワーク事業 2. 職員人事 3. 秘書渉外通信費
香月 孝夫	1. 伊万里港クルーズ船寄港誘致 (1)伊万里港湾のあゆみ (2)伊万里港湾の優位性 (3)港湾整備状況 (4)クルーズ船の船体規模による港湾規制 (5)港湾規模と入港状況(佐世保港、唐津港) (6)にっぽん丸寄港時の市内観光動向 (7)県への要望書 (8)クルーズ船受入れの体制づくり 2. 災害時(地震)対策 (1)地震発生時の初動体制 (2)市民への連絡体制 (3)スクールゾーン安全点検状況	前田 邦幸	1. 伊万里東部(松浦地区)工業団地(仮称)整備計画 (1)現在の状況 (2)今後の計画 2. 原子力防災対策 (1)防災行政無線の整備状況 (2)UPZ30キロ圏内の連携 (3)避難先市町との連携 3. 教育行政 (1)留守家庭児童クラブの民営化後の現状 (2)ICT教育環境整備の現状 (3)学校の耐震化
盛 泰子	1. 留守家庭児童クラブの「今と、これから」を考える (1)委託後の状況 (2)今後へ向けて 2. 危機管理 (1)視覚障がい者への戸別受信機貸与 (2)登録制一斉メール (3)UPZ圏内首長の協議の場づくり 3. 認知症患者のSOSネットワークと個人賠償責任保険	岩崎 義弥	1. 伊万里有田共立病院の経営改善 (1)いつ黒字化するのか (2)今後の負担額は (3)新市長の経営改善への思い 2. 市営散弾銃射撃場跡地 (1)大型沈砂池用地買収の内容と進捗状況 (2)アクションプラン (3)新市長の解決への思い
樋渡 雅純	1. 公営住宅の入居 (1)公営住宅の目的と市の入居状況 (2)民法の改正点 (3)国交省からの入居取り扱い通知 (4)今後の市の対応 2. 買物弱者対策 (1)実態の把握と本市の認識 (2)現状の対応と課題 (3)今後の支援のあり方と取り組み 3. 学校ICT環境整備 (1)新学習指導要領の改正ポイントと方向性 (2)本市の整備状況と課題 (3)ICT整備計画の策定 (4)本市の新しい時代を見据えた“情報教育”	船津 賢次	1. 市長選での選挙公約の実現と今後の方向性 (1)小中学校のエアコン設置 (2)市長退職金 (3)学校給食費の負担軽減 (4)伊万里・松浦病院一診療所機能を残して (5)留守家庭児童クラブの時間延長及び日曜・祝日の開設 (6)小児医療の夜間・休日診療体制 (7)原発再稼働
多久島 繁	1. 臨港道路久原波瀬線と廃棄物処理用地 (1)臨港道路延伸計画の有無 (2)道路延伸についての市の考え方 (3)廃棄物処理用地1期1工区の竣工予定 (4)川南造船所跡地の活用 (5)今後の取り組み	梶山 太	1. 学校給食 (1)食べ残し (2)想定される事故への対応 (3)給食費無料化 2. 公共施設の再編計画 (1)計画策定の経緯 (2)大坪地区公共施設複合化の経緯と今後
		草野 讓	1. 伊万里市再生可能エネルギービジョン (1)本市における再生可能エネルギーの将来像 2. 西九州させば広域都市圏構想の取り組み (1)取り組みの内容 (2)今後の取り組み 3. 伊万里港クルーズ船受け入れ体制 (1)伊万里湾の将来の展望
		中山 光義	1. 市長選の投票総括 (1)投票率等の総括 (2)過去最低の投票率に対する対策 (3)期日前投票 2. 市長の長期ビジョン戦略と継続性 (1)任期四年間の方向性 (2)政策継続性の確認

## 一般質問

## 通級指導教室



前田 敏彦

**質問** 通級指導教室とは、どのようなものか、又伊万里市の設置状況は、どうなっているのか。

**答弁** 教育部長

通級指導教室とは、小中学校の普通学級に在籍する学習や生活に困り感を持つ児童生徒の特性に合わせた個別の指導を受けることができる教室のことである。本市には、「言葉の教室」が小学校に3教室と「学びの教室」が中学校に1教室・小学校に2教室、設置されている。新設については、県に対して要望書を提出し検討を行い、3月下旬に設置決定が下りる。

**質問** 現在、通級指導教室は市内中心部に設置されており、特に周辺地域からの送迎負担が生じている。又、国で定めた1教室当たりの定員を超えている。保護者との相談の場を設け指導を必要としている子の実態把握、中学校への増設などの様々な課題に対し、どのように取り組んでい

くのか。

**答弁** 教育長

保護者との相談会等で児童生徒の実態把握に努めていく。中学校に加え小学校とも中心部以外への設置を見据え、又、定員についても適正な人数になるように、県に対し増設の要望を行っていく。

## 小中学校のエアコン整備

**質問** エアコン整備のスケジュールは、又、事業費の総額はどのくらい見込んでいるのか。

**答弁** 教育部長

今年度内、中学3年生の教室に設置し、他の教室については、現段階では4年を目標に完了できればと考えている。事業費は6億円程度と試算しているが、今後の設計で正確な数字をつかんでいく。

**質問** 4年間で6億円の予算が確保できるのであれば、まだ耐震化が終わっていない伊万里中学校と東山代小学校の建て替えに充てて前倒しできないか。又、学校現場では他に優先する課題はないか。

**答弁** 教育部長・市長

耐震化工事に影響がないようにエアコン整備も進めていく。他の課題についても把握はしているので、解決に向けて取り組んでいく。

## 教育環境の整備



坂本 繁憲

**質問** エアコンの整備

中学3年生の教室から行う意図。

**答弁** 教育部長

高校受験に向けて学習環境を充実させること等による。

**質問** 学校トイレの洋式化

3月議会答弁の、今後年次的に3千万円から4千万円を予算化する計画に変更はないか。

**答弁** 教育部長

予算枠を定めるのではなく、現場の状況や必要性に応じた洋式化を進めていきたい。

**質問** 学校給食費の無料化

3月議会で前市長は、中学校から段階的に取組み、財源が可能であれば、4年間程度をかけてすべての小中学校の給食費を無料化していきたいと答弁されたが、市長の考えは。

**答弁** 市長

子育て世代の経済的負担の軽減はもとより、子育て世代の移住・定住の促進など人口減少の抑止にも繋が

る有効な施策の一つであると考えているが、実施にあたっては財源の確保が大きな課題である。現在実施している4人目以降への多子世帯への給食費の補助を継続し、教育関連の事業の進捗状況を見ながら、将来にわたり継続できる安定的な財源の見通しが立った段階で検討に入りたいと思う。

## 幼児教育・保育の無償化

**質問** 新聞報道によれば、幼児教育・保育無償化が2019年10月に全面实施とあるが、本当にその流れで進んでいるのか。

**答弁** 市民部長

国においては、平成29年12月に閣議決定した「新しい経済政策パッケージ」の中で、幼児教育・保育無償化がうたわれている。そして、その実施時期は平成31年4月から一部スタートし、平成32年4月から全面实施するようになっていた。その後、6月13日に開催された「人生100年時代構想会議」において、「人づくり革命基本構想」が取りまとめられ、その内容が反映された「骨太の方針」が6月15日に閣議決定された。その中で、平成31年10月からの全面的な無償化措置の実施を目指すとの方向で進んでいくと考える。

一般質問

市長の市政運営の基本方針



松永 孝三

質問 伊万里港開港50周年事業について。

答弁 建設部長

伊万里港の歴史を振り返り、これからの伊万里港を考えるシンポジウムを開催するとともに、「伊万里みなと祭り2017」において50周年の記念式典のほか、帆船の一般公開や花火の打ち上げなどの実施で約10万人の来場があった。次の50年に向けて伊万里港の発展を誓ったところだ。

答弁 市長

本市政とともに伊万里港の開港指定から50年という節目の年に開催された事業として、伊万里港を大きくPRがなされ、これまでの歴史の中には、多くの皆様が関わられており、万感の思いで迎えられた方もおられ、非常に意義あるものであった。今後、伊万里港発展のため精一杯尽力してまいります。

質問 旧川南造船所跡地問題について。

答弁 市長

当該地の利活用については、検討委員会の提言を尊重し、廃棄物処理用地の土地利用にも大きな影響を持ち、一体的に検討を行い、今後の県港湾計画の改定時期をにらみ、国・県に対し、検討をお願いしていきたい。

質問 伊万里松浦病院の移転後の問題について。

答弁 市長

本年2月に北九州市JCHOの九州区事務所に、サテライト診療所の設置等についての要望書を提出したところであります。現時点ではJCHOから本市へ正式に回答をいただいている状況にありませんので、詳細についての回答ができないが、当該サテライト診療所の設置については、地元から強い要望であるので、JCHOから回答があり次第、地元のみなさまや県、地元医師会とも連携を取りながら、今後の方向性を見定めてまいりたいと考えております。



市役所庁舎移転



山口 恭寿

質問 市長は市役所庁舎の移転を公約で言っていたが、その候補地と任期中に実現出来るのか。

答弁 市長

詳細についてはこれから検討していくが、候補として川北地区または元玉屋周辺を想定。この任期中には出来ないと思っている。

質問 選挙前に公約としてしているので、市民の中には任期中に移転するものと思っている人もいるのではないか。

その人達に謝罪するべきでは。

答弁 市長

誤解させたつもりはない。

教育環境の整備

質問 留守家庭児童クラブの日曜祝祭日開催について。

答弁 教育部長

そのようなニーズがあることを認識しており、検討していく。

質問 現在、留守家庭児童クラブでは待機児童が発生している所もある。その対策は。

答弁 教育部長

来年度、発生した場合には、市内中心部に場所を確保し、そこで一括して対応する方針で進めている。

公民館機能の充実

質問 選挙公約の公民館機能を充実させることのスケジュールは。

答弁 政策経営部長

これから進めて行く。

質問 市長は公民館長を公募制にする公約で言っていたが。

答弁 政策経営部長

今後、公民館に予算と権限を移譲させていくとなると、当面は行政経験者が相応しいと考えられる。その後、検討していく。

伊万里港開港50周年事業

質問 選挙前に配られた市長の後援会チラシについて。

答弁 市長

50周年事業を否定するものではないし、事業自体は評価している。

一般質問

クルーズ船寄港誘致



香月 孝夫

**質問** につぼん丸寄港時の観光、及び市内での消費動向。

**答弁** 産業部長

オプショナルツアーへ2009名が申し込まれ、6台のバスへ分乗し市内等での観光を楽しまれた。大川内山窯元や酒造会社などでは、高額商品の購入やまとめ買いなどに繋がっている。当日の伊万里市観光協会での物販売上高は2.5倍(前日比)を記録した。クルーズ船の寄港誘致など、積極的な営業活動を展開し、本市の観光消費額増進に繋がっていき

**質問** 県への要望書(港湾整備推進)

**答弁** 建設部長

これまで、「入港安全基準」が未策定。入港実績のあるクルーズ船以外は入港出来ない状況にある。伊万里・嬉野・武雄・鹿島・有田の民間団体が共同で、佐賀県知事へその策定を要望。クルーズ船寄港のための佐賀県西部地域での取組みについて

賛同を得る。

**質問** クルーズ船の受入れ体制づくり。

**答弁** 市長

クルーズ船の誘致は



国内最大のクルーズ船「飛鳥II」

地域活性化の起爆剤であり、新たな観光施策にもなりうる。この機を逃さずその誘致に向けて、積極的に取り組む。佐賀県も港湾調査費として3900万円を6月補正に計上。現在、周辺地域の民間団体の皆様と連携し、受け入れ態勢づくりの構築を進めている。

災害時(地震)対策

**質問**

**答弁** 教育部長

スクールゾーン安全点検状況。通学路安全対策連絡協議会において、危険箇所点検が行われ、必要に応じ対策を実施。ブロック塀が倒壊した事など、大阪北部地震で得た教訓や視点等、協議会へ十分に反映させ更なる通学路の安全対策に努めていきたい。



安全確認中のブロック塀(伊万里保育園)

留守家庭児童クラブ



盛 泰子

**質問**

①委託後、多くの課題がある。どう把握し改善したか②支援員不足や配慮を要する児童への加配等の解決を③キャリアアップ加算により支援員の待遇改善を④受託業者のHPで「清掃と簡単な業務」として支援員を募集している。改善を⑤緊急時に必要な名簿の支援員への共有を⑥東山代第2の環境整備を⑦支援員の研修機会⑧トイレの改修が必要。

**答弁** 教育部長

①委託仕様書に沿ってのチェックはしており、大きな問題は発生していない。また3ヶ月であり、年間を通じて課題と方策を検討する②委託によって高学年への開設が可能となった。加配は協議する事としている③予算が関係するため事業者と協議する④仕事内容を具体的に書くよう指導する⑤受託業者が独自に集めて共有する方法に変えた⑥改善へ向け、市の担当者が入って協議する⑦定期的に受講できなかった研修もあり、

今後は行うよう働きかける⑧南波多は今回の補正予算で一部行う。

**意見** 最大の難関である夏休みが目前。支援員の努力が報われ、児童や保護者が安心できる場に！

危機管理

**質問**

①かつて問題提起したが、防災行政無線は荒天時などには聞こえない前提で整備している。戸別受信機に代わる登録制メールなどのPRを②UPZ圏内首長協議会の提案を。

**答弁** ①総務部長、②市長

①広報6月号等でPRした②「原発そのものに反対」だが、3号機が再稼働している以上、安全を徹底して再生エネルギー開発に努めてほしい。まずは唐津市長の考え方を確認したい。茨城方式は評価しており、「新しい枠組み」が何なのか聞く。

認知症患者の保険★

**質問**

徘徊が危惧される高齢者を介護する方の心労は大きい。個人賠償責任保険への取り組みを。

**答弁** 市民部長

徘徊中の事故への個人賠償責任保険に、市が保険料を負担する制度。具体的な検討は行っていないが、各方面に意見を聞き、まずは調査する。

## 買物弱者対策



樋渡 雅純

**質問** 昨年総務省より、買物弱者対策に関する実態調査の結果に基づき

通知によると、地方公共団体は買物弱者対策を行政上の課題としてとらえ積極的に関与していくことが重要とされている。①本市の実態の把握は②どの部署が中心となるのか③今後の支援のあり方は。

**答弁** ①②③市民部長

①高齢者要望等実態調査において、安心して営むために必要な支援として、買物支援について一人暮らし世帯33・5%、配偶者との2人暮らし世帯25・3%で不便さや不安を抱えている状況②長寿社会課を窓口にして担当課と連携していく。③今後は13地区社協と連携し状況把握をし、生活支援体制整備事業の中で枠組みや支援のあり方について検討する。

## 公営住宅の入居

**質問** 低所得者、高齢者等の入居に

際しては、民法の改正もあり、保証人が確保できないという状況の中、さらに難しい状況が生まれる。国土交通省から入居についての取り扱いの通知のポイントは何か。②今後の市の対応は。

**答弁** 建設部長

①保証人の確保を公営住宅への入居に際しての前提とすることから転換すべきと考え、標準条例を改正し、保証人に関する規定を削除した等の通知があった。②住宅行政連絡協議会で各市町の意見を反映し対応。

## 学校ICT環境整備

**質問** 文科省は授業・学習面・また

校務面でのICT活用や無線LANの整備による地域防災拠点としての「学校機能強化」が入る教育の情報化加速化プラン」を策定した。①本市ではパソコン1台当たりの児童生徒数、特に普通教室の無線LAN整備率が悪い。これまでの整備計画を修正し取り組む必要性は②新しい時代を見据えた情報教育については。

**答弁** ①教育部長 ②教育長

①段階的な計画を策定し、平成33年度完了を見込む。②ICT導入の情報教育は将来を担う子ども達にとって学び方や学ぶ姿勢を身に付けさせる上で是非推進していきたい。

## 臨港道路久原線の延伸計画



多久島 繁

**質問** 波瀬の先までの延伸計画は現在でも有効なのか。

**答弁** 建設部長

計画として位置づけられ存在しているが、現時点では交通事情を勘案の結果、整備されていない。

**質問** 久原ICが供用されたことにより、歩道のない国道204号へ大型車両通行が増え危険が増している。

臨港道路の延伸は必要と思われるが働きかけはどうか。

**答弁** 建設部長

浦之崎の廃棄物処理用地が産業用地となった場合には道路計画の位置づけとして働きかける。

## 廃棄物処理用地

**質問** 廃棄物処理用地は3工区に分

かれているがその中でI期I工区(30ha)の竣工予定はどうか。

**答弁** 建設部長

平成30年1月となっていたが遅れている。

**質問** おのずとI期2工区、II期区も遅れていくと思われるが、竣工が遅れていることについての対応は。

**答弁** 建設部長

可能な限り県に働きかける。

## 川南造船所跡地の開発を前倒しで

**質問** 川南造船所跡地と廃棄物処理

用地を一体とした開発について、少子化が急速に進む当地区は、造船所跡地だけでも先に整備が望まれ、海から陸へ生まれ変わった川南造船所跡地(約1万坪)の利用計画の早期作成が望まれる。

**答弁** 政策経営部長

港湾計画の改定を促したところ、今までもらえなかった「検討する」という答えを県の協議会から頂いており、今後も要望を続けていく。

**質問** 臨港道路、浦之崎の廃棄物処理用地に対して市長はどう思うか。

**答弁** 市長

浦之崎地区は最後のフロンティアと思っている。ポテンシャルは高いが、現状は未整備であり、県に土地利用計画等を強く求めていく。浦之崎に対する将来の期待は皆さんと一緒にあるので、これからも県に対し強く働きかけていく。

## 一般質問

## 一般質問

## 高齢者福祉対策



力武 勝範

**質問** 生活支援体制整備事業について。

**答弁** 市民部長  
団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、在宅で介護を受ける軽度の方や一人暮らし及び高齢者のみの世帯が増加すると予想されている。このような在宅で支援を必要とされる方達を、地域の力で支援をしていく仕組みを作ることが生活支援体制整備事業である。介護保険法では、市町村で取り組む必須事業である。住民が主体となった通いの場や買い物支援、ゴミ出し等簡単な家事援助の支援がなされることで、介護予防支援サービスの充実を図ること、高齢者の社会参加を促進し生きがいや介護予防につながる地域づくりを推進して行くことを目的としている。

## 留守家庭児童クラブ

**質問** 待機児童の移動費用負担について。

**答弁** 教育部長  
市内中心部のクラブへの移動にかかる費用は、保護者の負担にならないよう検討する。

**質問** 余裕教室を活用したクラブの使用基準のマニュアルが作成されていない。早急に作成されたい。

**答弁** 教育部長  
当該クラブの支援員の意見を取り入れ、学校との調整を図りながら、使途基準マニュアルを作成していく。

**質問** 市長・教育長との意見交換会での意見要望に対する対応について。

**答弁** 教育部長  
施設修理については、早急にできるものから順に修理していく。運営に関する意見は、運営を委託している事業者と協議しながら進めていく。

## 通級指導教室の整備

**質問** 伊万里中学校の建て替えに伴う教室等の整備について。

**答弁** 教育部長  
実施設計を行う中で、通級指導教室や普通教室も含めた、将来の学級数の増加に対応できる設計にしたい。

## 渋滞の緩和と交通の安全



弘川 貴紀

**質問** 市内では朝の通勤時間帯に複数の地点において渋滞が発生している。混む時間帯を避けゆとりを持つて通勤されている善良な市民の方がたくさんいるが、これまでに市が関係機関に要望し緩和した事例はあるのか。

**答弁** 総務部長  
警察や道路管理者に要望し、一昨年は川西交差点、昨年は伊万里駅前交差点と塩屋東交差点に時差式が用いられたり、白野北は3回にわたり信号機の改良を行なっている。

**質問** 国道204号楠久津交差点を起点とする渋滞を回避するため離合しづらい2ヶ所の市道を迂回する車両が多数あり、児童生徒の通学に大きな危険が及んでいる。現場で交通量調査を実施した結果、高額なインフラ整備は必要なく、信号時間の配分調整が最適と判断した。この政策提言への見解は。

**答弁** 市長  
市も警察も把握しており、前向きに検討する。道路管理者である公安委員会に上申する手続中で強く要望していく。

## センバツ出場の経済波及効果は

**質問** スポーツを活かしたまちづくりが実を結び、甲子園プロジェクト事業が注目された。報道機関等の取材件数と広告効果における経済波及額は。

**答弁** 政策経営部長  
市民、学校、地元企業や行政が一丸となり補完関係が評価された。25年度から継続してきたこの事業の結果だ。約30社から取材を受け、テレビ、雑誌やウェブ上でも掲載され、改めて「伊万里」の発信が出来、3億3千万相当の波及効果だ。

**質問** 今年度大幅に予算が縮減されたが、今後の展開は。

**答弁** 政策経営部長  
「甲子園」というブランドは野球に限らず、様々なスポーツ・文化的活動でも使用されている。この事業が青少年の健全育成や新たなまちづくりの活性化に寄与できるような事業構築に向け協議を進めていく。

## 企業誘致の推進



馬場 繁

(1)企業誘致の取組み状況

**質問** 過去3年間の企業誘致の実績は。

**答弁 産業部長**

338社に対し、延べ608回の立地勧奨を行い、誘致実績は9社(進出2社、立地7社)である。(2)伊万里東部(松浦地区)工業団地(仮称)について

**質問** ①進捗状況及び今後のスケジュール。②開発に伴う水源確保は。

**答弁 産業部長**

①これまで開発許可等の手続き及び地権者との協議を行い、今月22日に用地契約を開始した。今後のスケジュールは本年9月を目途に工事に着手し、平成31年度末に分譲を開始する予定である。②水源の確保は、団地南側の狸山ため池改修を平成31年度事業採択に向け関係部署との調整に取り組んでいきたい。(3)企業誘致について

**質問** 企業誘致は本市にとって必要と思うが市長の考えは。

**答弁 市長**

企業誘致施策は、地域経済の活性化に最も有効な手段であり、伊万里東部(松浦地区)工業団地は本市の製造業の誘致拠点と位置付け、事業系企業の誘致と併せ積極的に誘致活動を展開していきたい。

## 学校等の管理・運営

(1)学校ほか2運営交付金事業について

**質問** 運営交付金事業の目的は。

**答弁 教育長**

各学校等の自主性を活かし特色づくりを推進するため、校長や園長の裁量で自由に使える予算を配分するものである。(2)整備要望の対応状況について

**質問** 学校からの整備要望と対応状況、及び老朽箇所等の取組みは。

**答弁 教育部長**

平成29年度学校からの整備要望は163件で危険性や学習環境を考慮し28件対応したが、要望以外で老朽化に起因し緊急に147件対応した。老朽箇所の対策工事等については、必要な予算を財政課とも協議し計画的に進めて行きたい。

## アジアネットワーク事業



笠原 義久

**質問** 伊万里市浮揚の為、アジア諸

国、特に友好都市中国大連市に特産品の輸出や伊万里港の利活用等、多額の予算をかけて働きかけをして来たが、その後の経過は。

**答弁 政策経営部長**

中国の税制上の制約や、文化の違い、ニーズや嗜好について調査不足で順調には進まなかった。

**質問** 伊万里市の物産展の開催や焼物の展示販売場の開設は、その後どの様になったか。

**答弁 政策経営部長**

過去2回ほど開催したが、その後は中止している。

## 職員人事

**質問** 伊万里市の今日と未来は職員力の向上にかかっているが、職員人事は通常どの様に行なわれているのか。

**答弁 総務部長**

技術職を除き、職員の適性、希望等を考慮しながら、大方3年毎に定期的に行っている。

**質問** 重要案件や継続的政策を抱えている部課については、長期的に専門的な職員が必要なのは。又、市議会委員会行政視察に關係職員を同行させる考えはないか。

**答弁 市長**

専門職員の必要はあるが、あくまで総合的視野に立って全てに精通した職員を求めたい。委員会同行については、今後検討の余地があると思う。

## 秘書涉外通信費

**質問** 通信運搬費の名目のもとに市民に打電をしている実情は。

**答弁 総務部長**

ここ3年の事例で毎年600件以上の打電をしている。

**質問** 死亡者の情報を入手する方法も問題があるが、公費を使って打電する事は公職選挙法にも抵触する恐れがある。公費負担の打電は控えるべきでは。

**答弁 市長**

市民との公的な関係にある者を除き、全ての弔電は廃止した。

## 一般質問

一般質問

伊万里東部工業団地  
(仮称)整備



前田 邦幸

**質問** 平成31年度末の分譲開始に向けて、早期に完売を図るため市長のトップセールスが必要と考えるが。

**答弁** 市長

企業誘致は、固定資産税の増収や地域における雇用確保といった直接的な波及効果が期待できる。などから、引き続き伊万里東部工業団地(仮称)に取り組む事にした、1日でも早くの企業進出を実現する必要がある、その為にも市長として積極的なトップセールスを行っていく。

原子力防災対策

**質問** 防災行政無線工事の現在の状況と今後、防災訓練などで活用する計画はあるのか。

**答弁** 総務部長

平成28年度から平成30年度までの3カ年の計画で、6月20日に伊万里地区・松島地区・立花地区・大川内町が供用開始をする。それで全18

2局が供用開始になる、追加分と聴覚障害1級から3級までの戸別受信機の追加配付をする。

**質問** 佐賀県のUPZ30キロ圏内の連携と避難先の施設整備等を首長クラスでの協議をするべき。

**答弁** 市長

唐津市長が新玄海町長との協議をしたと聞いたが、唐津市長とは機会を捉えて意見を交わしたい。避難元と避難先の協議は、担当課で協議をしている、報告を受けたが、施設整備等の要望はない。今の所、首長レベルでの協議会は必要ないと思う。

教育行政

**質問** 電子黒板へのインターネット接続する必要と思う、いつになるか。

**答弁** 教育部長

デジタル教科書は、31年度4月から各学校で使用出来るようになるが、電子黒板へのインターネット接続は33年度までに行う。

**質問** 耐震化が出来ていない東山代小学校の建替えはいつになるのか。

**答弁** 市長

滝野小学校と公民館とのコンパクト化が協議中と聞いている、地元で協議をして頂ければ、私と教育長と話を聞きに行く。

伊万里有田共立病院  
の経営改善



岩崎 義弥

**質問** 病院の決算状況は。

**答弁** 市民部長

29年度決算で7350万円の赤字、累積赤字は約7億2千万円。

**質問** いつ黒字化するのか。

**答弁** 市民部長

平成29年度くらいから黒字化の予定だったが、先の見通せない状況。病院側が策定中の収支改善計画をもとに経営状況の正確な把握をしたい。

**質問** 赤字決算が続く場合、当初の予定に無かった市からの追加繰出し金が必要になると考えるが、どの程度の負担額になるのか。

**答弁** 市民部長

具体的な金額は現段階では示せない。累積赤字も増加し、深刻な状態であるということは認識している。

**質問** 赤字の原因究明、黒字化への道筋、病院への信頼回復など、経営陣が大きく交代したこの時期に抜本的な改革を行い、誰もが利用したくなる病院にしなければ、これからの

伊万里市・有田町の財政を圧迫する。全関係者が知恵を出し、費用はかかっても経営を客観的に見る事ができる外部の力を借りるなど、あらゆる策を真剣に考えなくてはならない時期が今、だと思うが、副管理者である市長の経営改善についての想いは。

**答弁** 市長

赤字が続けば大きな問題になる。どういう病院であるべきなのか見直す時期に来ている。新しい院長、管理者である有田町長と一緒に経営改善していく。

市営散弾銃射撃場跡地

**質問** 補正予算に大型沈砂池設置に向けた用地購入経費が計上されたが、内容と進捗状況は。

**答弁** 教育部長

射撃場跡地の東側に隣接する田や畑、原野で全体で8490㎡。射撃場から流れ出る表流水の鉛成分を沈殿させる機能を有する大型の沈砂池を整備するため、早急に関係者の方々と交渉にあたる。

**質問** 新市長の問題解決に向けた想いは。

**答弁** 市長

市としての重大な課題であると認識している。できるだけ早い解決に向けて取り組んでいきたい。



## 選挙公約と今後の方向性



船津 賢次

1、小中学校のエアコン設置

**質問** 1期4年ですべての小中学校に設置。中学3年の教室については9月議会に予算案を提案する。という答弁があった。財源についてはどのように考えておられるのか。

**答弁** 教育部長

国からの交付金、起債を活用する計画である。

2、市長退職金について

**質問** 何回か市長退職金について質問した「4年で2200万円は高すぎる」というものだったが、市長は廃止を公約された。市長の考えを。

**答弁** 市長

その分を小中学校のエアコン設置など、公約実現と市民との約束を果たすことにつなげたいと思った。

3、学校給食の負担軽減

**質問** アンケートに負担の軽減と「まずは、学校給食の目的をしつかり議論することから始めます」と回答されているが、その意味は。

**答弁** 市長

学校給食が心身の健全な発達に資すること。教育効果も有効であることなどだ。

4、診療所機能を残して

**質問** 市に一部負担が求められることが心配されるが、その場合の市の対応は。

**答弁** 市長

まだ回答が届いていない段階では答弁は控えさせていた。きたい。

5、留守家庭児童クラブ

**質問** ニーズを把握し、今年度中に方針を決定したい。という答弁があった。県内他市の状況はどうなっているか。

**答弁** 教育部長

12市町で午後7時まで時間延長が行われている。

6、小児医療について

**質問** 「初診は西部医療圏で済むように」という子育て世代の強い要望がある。市長は「現在、伊万里有田共立病院では2名体制ですが、あと1人増やせば夜間の対応ができるので努力します。」と回答されていたが。

**答弁** 市長

もう1名増員できれば可能になると聞いていた。医師の確保に努めたい。

7、原発再稼働（質問省略）

## 学校給食と公共施設再編を問う



梶山 太

**質問** 学校給食の食べ残しとアンケート調査について。

**答弁** 教育部長

平成29年度市内学校給食のご飯とおかずの残食は、1日当たり平均64kg。残食率は2・9%で国の示している6・9%を大きく下回っている。アンケートについては、平成27年度と28年度の2回実施している。対象は、市内全小・中学校とし、好き嫌いのランキングを作成している。

**質問** 想定される事故への対応は。

**答弁** 教育部長

伊万里市学校給食ノロウイルス感染症対策マニュアルに基づき実践している。調理事業者独自でも衛生管理を行っている。更には学校現場においても手洗い等を励行しての対応としている。

## 公共施設の再編計画

**質問** 伊万里市公共施設等総合管理

計画において、市民の声をどのように反映させたのか。

**答弁** 政策経営部長

関係団体や専門家、さらに公募した市民による「伊万里市公共施設あり方を考える市民会議」を開催し、委員の皆さんから忌憚のない意見を頂き計画に反映させている。

**質問** 計画の趣旨が削減ありきになっ

ていないか。きめ細やかで将来を見据えた公共施設の計画と管理が必要と思うが、市の見解は。

**答弁** 政策経営部長

計画では、単純に削減するのではなく、民営化等の運営手法や適正配置、複合化や機能の集約化など、地域や用途に応じた手法により、市民サービスの質や量を維持ことを念頭に置き、検討を進めていくことになっている。

**質問** 第6次総合計画との関連についての考えは。

**答弁** 市長

人口減少が進み、厳しい財政状況の下、市民サービスの維持を図るためには、公共施設の適正化の検討は不可欠である。公共施設の適正化の考えは、第6次総合計画の中に確実に盛り込んでいく。

## 一般質問

一般質問

伊万里市再生可能  
エネルギービジョン



草野 謙

**質問** 地球温暖化による地球環境問題があり、再生可能なエネルギーを公共施設や地場産業等に導入し、環境に適したエネルギービジョンに取り組む政策ですが、本市の再生可能エネルギーの将来像について。

**答弁** 政策経営部長

具体的な取り組みとして、産業及び地域の特性を勘案したエネルギー推進プロジェクトを設置し、ハウス栽培等に太陽光発電やバイオマス発電を活用し、農業用水路を活用した小水力発電などを目指す。その波及効果による再生可能エネルギーの電力自給率の増加を2038年度20%以上を目指す。

西九州させば広域都市圏  
構想の取り組み

**質問** 長崎県4市6町、佐賀県3市

1町において一定の圏域人口を有しコンパクト化とネットワーク化を図り、各市町が連携をして活力ある社

会経済を維持する為の拠点地区を形成するとありますが、どんな事業に取組まれるのか伺います。

**答弁** 政策経営部長

人口減少・少子高齢化が進み、周辺の市町の圏域人口を有しながら、活力ある社会経済を維持し、県境を越えたスケールメリットを活かし、連携事業として外国人観光客誘致の取組みや、ビッグデータを活用したマーケティング連携事業の促進に取組む。

伊万里港クルーズ船  
受け入れ体制

**質問** 今回の県における取り組みは、伊万里湾総合開発の本格的な事業のスタートだと思う。本市として伊万里湾開発の将来の展望として、どの様に描いておられるのか伺います。

**答弁** 市長

西九州自動車道の延伸などで、伊万里港へ繋がる道路のインフラ整備も進み、コンテナを取扱う貨物港としただけではなく、伊万里港における大型クルーズ船観光誘致が出来る港湾整備、つまり岸壁の建設が第一だが、その開発は本市として最重要施策と認識している。私としても先頭に立って邁進する。

期日前投票所の増設



中山 光義

**質問** 市役所一か所の期日前投票所を地域間格差を是正するため増設を。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長

利用者は市の中心部が高く周辺部が低い結果となっている。高齢化の進行、交通弱者対応では課題として理解している。しかし、二重投票防止対策、システム構築等の問題があり、今後の研究としていきたい。

JR筑肥線

**質問** JR筑肥線問題の今後の取組について、市長の考えは。

**答弁** 市長

JR九州との連携を強化し、通勤・通学等の生活インフラとして維持確保に全力で努めていきたい。

提川・川西線の市道  
改良工事

**質問** 東陵中学校開校時の条件だったが既に25年経過。今後の見直しは。

**答弁** 市長

早急に取組むべき必要があると考えている。現在事業を行っている二路線の完了を見通したうえで、次の整備路線として進めていく。

農業政策事業の継続

**質問** 梨改植等補助については今年度予算計上されていないが対応は。

**答弁** 産業部長

30年度に行う改植等については、実績補助として、31年度の補正対応とし、早い時期に支給できるように検討している。

**質問** 農業政策について今後市長はどのように取組まれるか。

**答弁** 市長

農業者の意見を伺いながら、課題を整理し、行政が支援することで、課題解決に繋がるものから対応していきたい。また、農業生産振興にこれまで以上に努めていきたい。

消防団員の諸手当

**質問** これまでの答弁を踏まえた今後の方向性は。

**答弁** 理事(消防長)

来年度から出動手当を見直し、その後、速やかに団員報酬の見直しを図っていきたい。